

米づくり情報（NO. 1）

令和5年6月12日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

1 気象概況（アメダス観測地：伊万里）

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値	本年値	平年値	本年値	平年値	本年値	平年値	本年値	平年値	本年値
		℃	℃	℃	℃	℃	℃	mm	mm	時間	時間
5月	4	18.7	20.2	24.3	25.4	13.7	16.0	32.4	42.0	31.7	28.0
	5	19.4	18.9	25.0	25.2	14.4	13.6	25.3	0.0	31.8	37.6
	6	20.1	22.6	25.5	27.5	15.2	18.9	26.1	81.5	36.1	16.5
6月	1	20.6	21.7	25.8	27.2	16.3	17.6	24.3	12.0	27.1	26.4
	2	21.3	20.6	26.1	25.0	17.3	17.3	33.7	34.0	24.1	18.2
	3	21.9	—	26.5	—	18.2	—	48.2	—	22.1	—
	4	22.4	—	26.8	—	19.0	—	67.9	—	19.6	—
	5	23.1	—	27.1	—	20.0	—	85.9	—	16.0	—
	6	24.0	—	27.7	—	21.1	—	95.6	—	14.1	—

- ・気温は、5月4半旬および5月6半旬～6月1半旬にかけて平年より1.1～2.5℃高く推移し、6月2半旬以降は平年より0.7℃低い。
- ・降水量は、5月30日および31日にまとまった降雨があったことから、5月6半旬は平年対比312%であった。また、日照時間は5月6半旬以降、平年より少ない。
- ・梅雨入りは5月29日となり、平年より6日早い梅雨入りとなった。

2 生育状況（6月12日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	莖数 本/㎡	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概要
夢しずく 6/2 移植 東山代町脇野	本年値	24.5	75	4.8	27.9	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年より低い ・莖数は、平年より少ない ・主稈出葉数は平年より少ない ・葉色は平年より薄い
	平年値	26.2	98	5.3	34.7	
	平年比	94	76	90	81	

（耕種概要）

品 種	年 次	苗 質		移植日 (月 日)	栽植密度 (株/㎡)	備 考
		苗丈	葉令			
夢しずく	本年値	14.8	2.6	6月2日	17.8	前作 水稻
	平年値	14.6	2.6	5月30日	18.3	前作 水稻

※夢しずくの平年値は、H25～R4の平均値から最上位と最下位の数値を除いた平均値。

3 今後の管理

1) 山間早植え水稻（5月上中旬移植）

- ・現在、分けつ発生盛期である。
- ・1株当たり20本程度の莖数が確保できた圃場から順次中干しに移行する。
- ・6月下旬には、幼穂形成始期直前となり稲の用水要求度が高い時期となるため中干しが遅れないよう留意する。

- 今後は、葉もち病の発生に留意し、進展型の病斑が見られた場合は、オリブライト粒剤もしくはオリブライト 250G 等により直ちに防除を実施する。



左 18本 右 17本
(間もなく中干へ移行)

左 29本 右 23
(ただちに中干へ移行)

参考) 夢しずく茎数の目安

○中干しの開始時期の目安

- 有効茎（1株当たり 20本程度の分けつ）が確保でき、株が開張して草丈がおおむね 35～50 cm となった頃から開始する。

○中干しの期間と程度

- 中干し実施期間は、5～7日とする。
- 中干しの程度は、軽く足跡がつき、小さなヒビが入る程度とする（歩いて足跡がつくが、抵抗なく歩ける硬さが理想）。

※土壌が白乾し、手のひらが縦に入るようなヒビができる強い中干しは、断根を伴い稲のストレスとなるので避ける。

葉と葉が重なり、30m先の条間が見えなくなったところが
中干し開始の目安



小ひびが入るくらいの
強さで行う



2) 普通期水稻「夢しずく」

- 活着期～分けつ期を迎えている。除草剤散布後7日以降は、浅水管理（水深0～3cm 程度）とし、分けつの発生促進に努める。また、補植苗はいもち病の発生源となるため、除草剤散布後は速やかに撤去する。
- ガスわき対策として移植後15日、25日頃は夜干しなどを行い、根の活力を高める。
- 一部圃場においてヒエやホタルイ等の雑草の発生が散見される。そのような圃場は、中後期除草剤を使用して、防除を実施する（各除草剤の適用ラベルをよく読み、使用時期等を厳守する）。

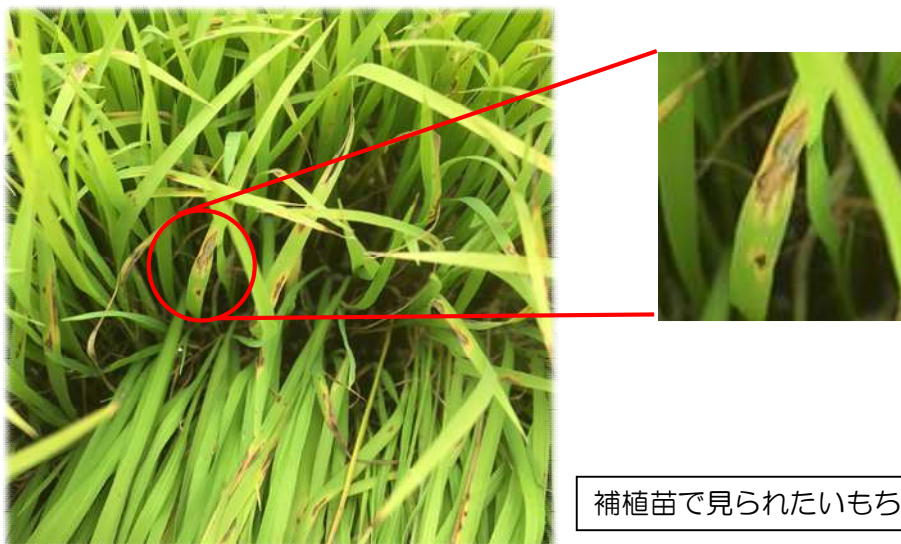
3) 共通

○雑草管理

- 除草剤散布時に水深が確保できなかった圃場や、散布後に水が確保できなかった圃場で雑草の発生が見られる場合は、中後期除草剤による対応を行う。
- 用水確保が難しい圃場においては落水処理のできる除草剤、用水が確保できる圃場は粒剤等の中後期除草剤を選択し適切に防除を実施する。

○病害虫防除

- 佐賀県農業技術防除センター6月発生予報（5月31日付け）では、葉いもちの発生は、早植え、普通期水稻共に「平年並」、スクミリンゴガイの発生は「やや多」と報告されている。圃場の発生状況を確認し適期防除に努める。
- 6月8日までのBLASTAM 情報（気象条件に基づき、葉いもちの発生を予測するシステム）によると、伊万里ではいもち病感染好適条件は出現していないが、発生状況には十分注意し、病斑が確認された圃場では速やかに防除を行う。
- 圃場内に放置されている補植苗（置き苗）は「いもち病」の温床になるため速やかに除去する。
- ウンカ類については、6月8日に時点では未確認。



補植苗で見られたいもち病の病斑

令和5年産水稻生育期間気象グラフ (アメダス：伊万里)

西松浦農業振興センター

